

地方公共団体名	北海道妹背牛町
所属部局	企画振興課
現状・実施したい脱炭素施策	妹背牛町福祉施設群における地域マイクログリッド構築事業
脱炭素施策の実施によって地域にもたらしたい脱炭素以外のメリット・地域裨益・ありたい未来（ビジョン）	☐ コスト削減、エネルギー代金削減 ☐ 地域の魅力の向上・地域課題解決 ☐ 健康・福祉等への貢献 ☒ 防災・レジリエンス向上 ☐ 地域経済の活性化・循環型共生圏づくり ☐ その他
上記内容の概要	本事業では、本町が特別豪雪地帯に指定されていることから、積雪の影響を受けにくく、加えて雪面からの反射光による発電量の増加が期待できる垂直型太陽光モジュールを採用するものとした。これにより、地域特性に適合した安定的な再生可能エネルギーの導入を図る。太陽光発電設備の導入規模については、設置可能面積およびコスト面を踏まえた検討を行い、福祉施設群については設備容量約300kW程度を想定している。 また、令和8年度では「妹背牛町浄化センター太陽光発電設備導入事業」を着工しており令和9年度で福祉施設群における「地域マイクログリッド構築事業」を予定している。
マッチングを望む分野	高 ← 優先度 → 低 1 マイクログリッド・VPP 4 2 公共施設での太陽光発電 5 3 その他 : _____
マッチング企業と取り組みたい事業	福祉施設群における「地域マイクログリッド構築事業」